

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

【クリーン大作戦】先日清掃スタッフを集め、総勢約40名で大掃除を実施しました。目的としては5Sの柱となる清掃に対する意識向上と、清掃活動を見たスタッフに対してでも5S活動が実施されている事のアピールです。5Sの難しい点として成果を実感しにくいという点が挙げられますが、この目に見える大掃除をする事で、スタッフが5Sの必要性や爽快感を感じてくれる事も狙いの一つです。この大掃除は今まで一度も実施されたことが無い訳ではありませんが、しばらく行われておらず久しぶりの開催となりました。院内には結核患者、エイズ患者等の様々な病状の患者がおりますのでゴール、マスク等の感染予防を施した状態での作業となりました。この防護服見たことありますよね。そうです、私たちが鳥インフルエンザ等着ている防護服とほとんど同じでした。あの寒かった日思い出しながら作業に取り組みました。



【チャリマト】乗ってる姿を見られると少し恥ずかしいのですが、庶民の足チャリマト。バイクタクシーとも呼ばれていますが、隊員間ではチャリマトと呼んでおります。ちょっとした一人の移動に使い、低価格の為マラウイ人も頻繁に利用しているようです。価格は交渉次第で大きく変動する事もあるのですが、分かりやすく例を作ってみますと、役場から中学校までの距離で200クワチャ(30円)といったところだと思います。ポロポロで空気の入っていないような自転車がほとんどですが、それでも頑張って目的地まで運んでくれます。写真を見ても分かるように後部座席はクッション加工されており短い距離であれば快適な移動が可能です。しかし、ドライバー達は英語を話す事が出来ない人も多く目的地の説明に困ってしまう事もしばしばあります。以前お互いどこに向かえばいいのか分からなくなって路頭に迷ってしまった事があります。ドライバーはお客を捕まえるのに必死ですので知らない目的地でも知ったふりをする事もありますのでご注意ください。



【星が綺麗】最近星を眺めましたか？熊本の夜空も日本の中では綺麗な方だと思いますが、アフリカはやはりアフリカでした。この綺麗さを言葉で伝える事が出来ないのが残念なのですが、マラウイでは町中が停電しますので、そんな夜は星以外の光は一切ありません。星が見える日は天の川を見る事が出来ます。それに加え、南半球のなので日本で見る星や星座の向きが違う事も面白さのひとつです。



見えますか？是非パソコンの画面を明るくしてみてください。



ケープマクレアの夜空

発展途上国で生活していると特に男性隊員は急激に痩せていきます。10キロ・20キロ痩せてしまいう方も珍しくありません。実際に同期のほとんどが痩せてしまい、わずか半年でここまで変わってしまうのかと、環境の変化の大きさを感ずきました。一方女性隊員はと言うと比較的現状維持できているようです。やはり状況対応能力が男性より高いのか、どの国どの世代でもこのような傾向があるようです。さて私ですが、マラウイに来るまでは「アフリカではきつと痩せるだろうな」と思っていました。しかし、全くと言っていいほど変化がありません。食べる量も飲酒も確実に日本より減っているのにも関わらず変化が見られませんが、自分で言うのもなんですが、適応能力があったようです。